



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月23日

東

上場会社名 日本高純度化学株式会社 上場取引所  
 コード番号 4973 URL <http://www.netjpc.com>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 清水 茂樹  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営企画部管掌（氏名） 内田 薫 (TEL) 03-3550-1048  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,605	△9.4	518	△13.1	564	△10.5	386	△8.6
27年3月期第2四半期	5,082	1.4	597	9.5	630	10.2	422	11.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第2四半期	66.21		65.87					
27年3月期第2四半期	72.62		72.50					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,970	8,613	85.9
27年3月期	10,706	9,010	83.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 8,563百万円 27年3月期 8,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
28年3月期	—	40.00			
28年3月期(予想)			—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	4.6	1,270	14.5	1,350	14.8	880	14.5	150.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期2Q	6,317,200株	27年3月期	6,317,200株
28年3月期2Q	476,000株	27年3月期	482,300株
28年3月期2Q	5,836,394株	27年3月期2Q	5,823,382株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、平成27年10月27日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明資料は当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期業績の概要は以下の通りであります。

当期の日本経済は昨秋の日銀の追加緩和策と原油価格下落にもかかわらず、依然足踏み状況が続いています。米国の金融出口戦略を背景としたドル高が米国経済だけでなく世界経済にも重石となり、資源国と中国の景気失速も加わって世界貿易が減少する中で、我が国の輸出も減少に転じ、景気回復にブレーキが掛りました。昨年の消費税引き上げの影響が一巡し、企業の賃上げで家計の実質賃金も増加に転じ、消費は回復しつつあり、企業の設備投資意欲も旺盛ですが、外需の低迷で景気は再び踊り場を迎えました。

電子部品業界におきましては、スマートフォンやPCなど民生機器市場の低迷、自動車生産の伸び悩みなど、最終需要の低迷による影響がみられましたが、直近においては新型スマートフォンの販売好調に伴う生産拡大、中国スマホのハイエンド化、国内自動車メーカーの主力車種のモデルチェンジによる部品需要の増加が期待されます。

当社におきましては、ハイエンドスマートフォン向けや車載向けマイクロコネクタ用硬質金めっき薬品は省金性に優れており、その技術的優位性から販売は好調に推移しました。無電解置換めっき薬品につきましても、スマートフォン及びその基地局向けへの拡販により販売は増加しました。しかし、無電解還元金めっき薬品はMPU向けの薄膜化が進み、薬品の販売は減少しました。さらに、フレキシブル基板向けの金めっき薬品は、電解から無電解への移行により金の薄膜化が進み、薬品の販売は減少しました。

その結果、売上高は4,605百万円(前年同四半期累計期間比9.4%減)、営業利益は518百万円(前年同四半期累計期間比13.1%減)、経常利益は564百万円(前年同四半期累計期間比10.5%減)、四半期純利益は386百万円(前年同四半期累計期間比8.6%減)となりました。

売上高の用途品目別内訳は、プリント基板・半導体搭載基板用1,515百万円、コネクタ・マイクロスイッチ用952百万円、リードフレーム用1,795百万円、その他341百万円であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債・純資産の増減

## (資産)

流動資産は6,131百万円となり、前事業年度末に比べて115百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金(電子記録債権を含む)が152百万円増加したことによるものであります。

固定資産は3,839百万円となり、前事業年度末に比べて851百万円の減少となりました。これは主に投資有価証券が847百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は9,970百万円となり、前事業年度末に比べて735百万円の減少となりました。

## (負債)

流動負債は531百万円となり、前事業年度末に比べて58百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等が53百万円減少したことによるものであります。

固定負債は825百万円となり、前事業年度末に比べて280百万円の減少となりました。これは主に繰延税金負債が280百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,356百万円となり、前事業年度末に比べて338百万円の減少となりました。

## (純資産)

純資産合計は8,613百万円となり、前事業年度末に比べて396百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が152百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が577百万円減少したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,912百万円(前年同四半期は3,454百万円)となり、前事業年度末に比べ0.4百万円の減少となりました。なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは239百万円の収入となり(前年同四半期は0.2百万円の支出)、前年同四半期比240百万円の収入増となりました。これは主に、前年同四半期は売上債権の増加により592百万円の収入減であった一方、当四半期は売上債権の増加による収入減が152百万円に留まったことなどによるものであります。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、実験装置等の有形固定資産の取得等により19百万円の支出となり、前年同四半期比1百万円の支出増となりました。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは220百万円の支出となり、前年同四半期比4百万円の支出減となりました。これは主に、自己株式の処分による収入12百万円(前年同四半期は8百万円)があったことによるものであります。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,414,114	4,413,689
受取手形及び売掛金	1,251,472	1,404,091
商品及び製品	81,304	103,746
原材料及び貯蔵品	115,553	114,926
その他	153,599	94,942
流動資産合計	6,016,044	6,131,396
固定資産		
有形固定資産	99,607	99,718
無形固定資産	38,867	31,570
投資その他の資産		
投資有価証券	4,511,098	3,663,873
その他	40,541	43,839
投資その他の資産合計	4,551,640	3,707,713
固定資産合計	4,690,116	3,839,003
資産合計	10,706,160	9,970,399
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	231,577	236,871
未払法人税等	230,249	176,601
賞与引当金	59,000	53,500
その他	69,406	64,507
流動負債合計	590,234	531,480
固定負債		
長期末払金	285,882	285,882
繰延税金負債	780,732	500,448
資産除去債務	38,917	39,110
固定負債合計	1,105,531	825,440
負債合計	1,695,765	1,356,921
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,283,196	1,283,196
資本剰余金	1,026,909	1,026,909
利益剰余金	5,912,326	6,064,525
自己株式	△1,149,032	△1,134,023
株主資本合計	7,073,400	7,240,609
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,899,973	1,322,485
評価・換算差額等合計	1,899,973	1,322,485
新株予約権	37,020	50,383
純資産合計	9,010,394	8,613,478
負債純資産合計	10,706,160	9,970,399

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,082,996	4,605,528
売上原価	4,001,360	3,577,026
売上総利益	1,081,636	1,028,501
販売費及び一般管理費	484,266	509,545
営業利益	597,369	518,955
営業外収益		
受取利息	369	381
受取配当金	30,021	45,832
その他	3,123	267
営業外収益合計	33,514	46,481
営業外費用		
為替差損	-	561
株式交付費	4	-
営業外費用合計	4	561
経常利益	630,879	564,876
特別利益		
固定資産売却益	346	765
新株予約権戻入益	11,107	-
特別利益合計	11,453	765
特別損失		
投資有価証券評価損	5,120	-
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	5,120	0
税引前四半期純利益	637,213	565,642
法人税、住民税及び事業税	221,621	177,212
法人税等調整額	△7,326	2,031
法人税等合計	214,294	179,243
四半期純利益	422,918	386,398

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	637,213	565,642
減価償却費	23,181	22,314
投資有価証券評価損益(△は益)	5,120	-
新株予約権戻入益	△11,107	-
受取利息及び受取配当金	△30,391	△46,214
売上債権の増減額(△は増加)	△592,898	△152,618
たな卸資産の増減額(△は増加)	24,103	△21,815
仕入債務の増減額(△は減少)	71,178	5,293
その他	15,445	56,894
小計	141,844	429,495
利息及び配当金の受取額	24,863	37,880
法人税等の支払額	△166,915	△227,387
営業活動によるキャッシュ・フロー	△207	239,988
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△6,241	△6,241
有形固定資産の取得による支出	△10,449	△10,643
差入保証金の差入による支出	△375	-
その他	△1,715	△3,015
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,780	△19,900
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	8,096	12,882
配当金の支払額	△232,900	△233,396
財務活動によるキャッシュ・フロー	△224,803	△220,514
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△243,791	△425
現金及び現金同等物の期首残高	3,697,800	3,913,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,454,008	3,912,626



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。